

令和8年度第4回教育研究評議会議事要旨

日 時 令和8年7月17日（金） 15時50分～17時30分
場 所 本部棟2階大会議室
出席者 学長、大島理事、鯉川理事、青木理事、野口理事、田中理事、羽石人文・社会科学域長、副島医学域長、鈴木自然科学域長、今井教育学系長、中村芸術学系長、佐藤理工学系長、中村教育開発推進センター長、花田附属図書館長、山下副病院長、後藤生物資源教育研究センター長、中西評議員、吉住評議員、山本評議員、小田評議員、田中評議員、辻田評議員、北垣評議員
欠席者
陪席者 大川内監事

○ 審議事項

1.

2.

3. 令和8年度教育功績等表彰対象者の決定について

鯉川理事から、令和8年度教育功績等表彰対象者の決定について、教育功績等表彰規程等に基づき、各部局から推薦があったもののうち、教育学部2件、経済学部1件、コスメティックサイエンス学環1件を表彰対象者として選定した旨の説明があった。併せて、教育功績等表彰の表彰対象者に対するインセンティブ付与に関する申合せに基づき、被表彰者に対してインセンティブを付与する旨の説明があり、審議の結果、了承された。

4. 大学間学術交流協定校との学術交流協定締結について（更新）

坂本国際交流推進センター長から、王立プノンペン大学（カンボジア）、デザインアカデミーアイントホーフェン（オランダ）及びアルメリア大学（スペイン）との学術交流協定について、学生交流の制度的な基盤を確立し、交流を通じて国際共同研究の普及が進むとともに、本学における大学院教育の高度化が期待されるため、王立プノンペン大学、デザインアカデミーアイントホーフェンについては5年間、アルメリア大学については4年間の協定更新を行う旨の説明があり、審議の結果、了承された。

5. 国連大学SDG大学連携プラットフォーム参加について

坂本国際交流推進センター長から、国連大学SDG大学連携プラットフォームについて、国際連合大学学長からの提案を受け、他大学の先進的なトップダウンとボトムアップの好循環（サステナビリティ経営）のノウハウの吸収及び、本学の教育・研究・地域連携の取り組みを国際水準へと引き上げるとともに、グローバルな発信力を強化し、大学としての社会的価値と国際的プレゼンスを向上させることを目的として参加する旨の説明があり、審議の結果、了承された。

6. 共同研究講座の設置（新規）について

青木理事から、Epigenetic AI 株式会社より、生活習慣因子・生体指標と生

物学的年齢加速の関連を包括的に検討し、生物学的年齢加速の危険因子、および防御因子を明らかにすることを目的とした共同研究講座「健康長寿イノベーション共同研究講座」の新規設置の申し込みがあった旨及び設置期間等について説明があり、審議の結果、了承された。

○ 報告事項

7. 令和9年度概算要求事項、ミッション実現戦略分及び設備マスタープランについて

前田財務部長から、令和9年度概算要求に向けて、ミッション実現加速化経費（共通政策課題分）の要求事項を選定した旨、教育研究組織改革分のうち支援期間が終了する事業の最終評価及びミッション実現戦略分の4年目終了時評価（中間評価）のため、文部科学省へ報告書を提出する旨並びに教育、研究及び医療設備に係る「設備マスタープラン」を令和8年4月1日付で改訂する旨の報告があった。また、森吉環境施設部長から、令和9年度施設整備費要求事項について報告があった。

8. 令和7事業年度決算について

前田財務部長から、国立大学法人法第35条の2において準用する独立行政法人通則法第38条第1項及び同条第2項に基づき、令和7事業年度財務諸表等について作成し、文部科学大臣に提出する旨の報告があった。

9. その他

特になし

以 上